

地域猫活動報告書

緑区M町内における取り組み

平成 29 年 5 月 18 日

特定非営利活動法人 Leeloo（リールー）

1. 活動区域

名古屋市緑区M町内および隣接する区域

2. 活動期間

平成 28 年 2 月～

3. 活動に至る経緯

- ・平成 27 年末、^{リールー}Leelooは緑区M町内の住民より自宅の庭先で世話をしていたノラ猫の子どもの里親探しの相談を受けた。
- ・住民は事前に動物愛護センター、緑保健所、緑警察署の各所へ相談をしており、助言は受けたが具体的な方法へと結びつけることは出来なかった。
- ・平成 28 年 2 月、^{リールー}Leelooは状況確認のため緑区M町内の現地を訪れたが、子猫以外にも多数のノラ猫が生息している状況がわかった。
- ・^{リールー}Leelooは猫の世話をしていた 3 世帯の住民に繁殖制限をする必要性について説明をしたところ同意を得ることができ、子猫の里親探しと避妊・去勢手術の協力を行うことになった。

4. 活動前の状況

- ・緑区M町内およびその周辺では十数年来、多数のノラ猫が生息し、毎年、繁殖を繰り返していた。
- ・ノラ猫は主に空き家や倉庫などをすみかとして繁殖し、いつかは方々へ移動していく状況が確認されていた。
- ・相談者の周辺のノラ猫の数は目視と聞き込みにより 10～12 頭と推測された。
- ・ノラ猫に給餌をして世話をしているのは 3 世帯であったが、避妊・去勢手術を施すまでには至らなかった。
- ・住民の中には、外で産まれていた子猫を保護し飼い猫として飼育している人もいた。
- ・周辺の住宅には糞尿被害があり、超音波の装置を置いている家もあったが、抜本的な対策について提案する人はいなかった。

5. 住民や町内会への広報

- ・平成 28 年 2 月、相談者ととも町内会長に状況説明を行い、地域猫活動に対する住民の理解と協力のために回覧版を利用した広報を要請した。
- ・平成 28 年 2 月、回覧板で活動開始を広報した。
- ・平成 28 年 5、9 月、相談者の周辺 30 世帯ほどにチラシを配付して広報した。
- ・平成 28 年 7 月、回覧板で活動報告を広報した。
- ・平成 29 年 5 月、町内会に報告書を提出した。

6. 捕獲、保護および避妊・去勢手術の実態

ノラ猫の数と個体の識別をし、世話をしていた 2 世帯の住宅の敷地と許可を得た近隣の 1 世帯の住宅の敷地で捕獲を実施した。主に捕獲器の設置は^{リールー}Leelooが行い、状況観察は住民が行って 2 者が連携をはかった。メス猫の出産を防ぐよう努力したが、捕獲に困難を要した 3 頭が平成 28 年春～夏に出産した。産まれた子猫は時期を見計らい^{リールー}Leelooが全部を保護した。同時期に 3 頭の親猫は順次、捕獲ができた。手術が済んだ猫は数日間の安静のあと元の場所に戻した。

(1) 避妊・去勢手術

避妊・去勢手術数 12 頭

*詳細

実施日	猫の性別	特長
平成 28 年 2 月 7 日	メス	生後 6 カ月ほどの子猫
〃	メス	生後 6 カ月ほどの子猫
平成 28 年 2 月 13 日	メス	生後 6 カ月ほどの子猫
〃	オス	足に病気あり
平成 28 年 2 月 15 日	メス	生後 6 カ月ほどの子猫
平成 28 年 4 月 20 日	オス	数年来、生息している猫
平成 28 年 5 月 2 日	メス	生後 6 カ月ほどの子猫
平成 28 年 5 月 30 日	メス	出産後に捕獲
平成 28 年 8 月 19 日	メス	出産後に捕獲
平成 28 年 8 月 22 日	メス	出産後に捕獲
平成 28 年 8 月 23 日	メス	若いメス猫
平成 28 年 8 月 27 日	オス	数年来、生息している猫

(2) 保護

保護数 18 頭

*詳細

保護日	頭数	備考
平成 28 年 2 月	3	上記の猫、手術と同時に保護
平成 28 年 5 月	5	生後 1 か月の子猫
平成 28 年 8 月	6	生後 1 か月の子猫
平成 28 年 8 月	4	生後 1 か月の子猫

(3) 費用

① 避妊・去勢手術費用

平成 28 年 2 月～5 月 2 日までの 7 頭の手術は猫の世話をしていた住民 2 人と^{リールー}Leelooが支払いをした。手術費用が 1 頭 5,000 円～10,000 円である天白区、南区内の動物病院を利用した。平成 28 年 5 月 30 日以後の 5 頭は相談者である住民がなごやかキャットサポーターに登録し補助制度を利用した。

② 保護費用

保護猫に関する飼育費および治療費は^{リールー}Leelooが支払いをした。

7. 今後の展望

現在も日々の見守り活動によってノラ猫の個体の識別ができており、数が増えない状況が保たれている。回覧版を利用したチラシや聞き込みによる住民同士の会話によって町内には活動が少しずつ周知されてきている。町内会への活動報告は適宜、行っていく予定である。